



2023 年 5 月 11 日
東日本旅客鉄道株式会社
JR 東日本スタートアップ株式会社

～JR 東日本スタートアッププログラム 2022 秋の採択企業について～

7 件の提案を採択、DEMO DAY（発表会）で“スタートアップ大賞”を決定します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕）は、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々との協業によるビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を進めてきました。
- 6 年目となる今回はさらなるオープンイノベーションを推進するため、春と秋の年 2 回募集を行いました。また、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」の 3 つをテーマに掲げ、未来を見据えた協業をベンチャー企業の方々と進めてまいります。
- 秋は、2022 年 10 月から参加を募り、合計 94 件の提案の中から 7 件を採択しました。
- 採択した提案および協業内容の DEMO DAY（発表会）を開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、「優秀賞」を決定します。採択企業は JR 東日本グループと協業し、順次テストマーケティングを行っていきます。

1. 「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年度に初めて開催し、これまでに計 104 件の提案を採択。鉄道事業や IT 事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取り組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の 2018 年度第 1 回日本オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞、2020 年度第 3 回同賞において、環境大臣賞を受賞しました。

2. 秋の採択企業

自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有する、概ね起業 10 年以内の企業を対象に、プログラム期間内のテストマーケティングを実施することを目指します。また、創業間もないベンチャー企業についても JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業の具体化を検討していきます。応募期間中に 94 件のご提案をいただき、書類審査とプレゼン審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」のテーマ提案を含む 7 社を採択し、ご応募から約 1 年間のプログラム期間内でテストマーケティングを行います。

【採択企業一覧】

株式会社 ハッコウバ haccoba ●	株式会社 アルゴ アーティス ALGO ARTIS※1 ●	株式会社ウェーブレット ●
株式会社 サーク SIRC※1 ●	株式会社 フルデプス FullDepth ●	株式会社 グロースパートナーズ grow & partners ●
株式会社 トムシ TOMUSHI※2 ●		

- 「地域共創」・・・観光資源の活用や MaaS などによる新しい旅や働き方、地域産業との連携による新たなビジネス創出など、沿線生活における駅などの資産の新たな価値創造
- 「デジタル共創」・・・AI やロボティクス、ドローンなどによる生産性向上、Suica をはじめとしたデータ資産の活用など、リアル×デジタルのくらしづくり
- 「地球共創（SDGs）」・・・カーボンニュートラル、エネルギー、サーキュラーエコノミーなど、持続可能社会実現への挑戦

※1 課題先行型マッチングイベント「STARTUP PITCH」からの採択

※2 未来変革パートナーシッププログラム（<https://jrestartup.co.jp/partnership-program/>）からの採択

3. DEMO DAY (発表会) について

審査により採択された7件の提案の中から、社外審査員を交えてスタートアップ大賞、優秀賞を決定します。

DEMO DAYの様子はオンライン配信しますが、受賞企業および受賞者につきましては、改めてHP (<https://jrestartup.co.jp/program/>)でもお知らせします。

(1) 配信日

2023年5月30日(火)

視聴申込 URL : <https://jresup2022autumn.peatix.com/>

(2) 審査員 (50音順)

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
Plug and Play Japan 株式会社
守屋実事務所
東日本旅客鉄道株式会社

共同創業パートナー
執行役員 CMO
代表
代表取締役副社長マーケティング本部長
代表取締役副社長イノベーション戦略本部長
常務取締役グループ経営戦略本部長

仮屋園 聡一氏
藤本 あゆみ氏
守屋 実氏
喜勢 陽一
伊勢 勝巳
渡利 千春



仮屋園 聡一
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
共同創業パートナー

グロービス・キャピタル・パートナーズでは世界各国の機関投資家などより累計 2,000 億円超の資金を預かり、日本における有望ベンチャー企業へ、成長のために必要となる「ヒト(人材)」「カネ(資金)」「チエ(経営ノウハウ)」の総合的な支援を行っている。



藤本 あゆみ
Plug and Play Japan 株式会社
執行役員 CMO

2002年にキャリアデザインセンターに入社。Googleで営業マネージャーを経て、2016年に at Will Work を設立。お金のデザインを経て、Plug and Play 株式会社で CMO としてマーケティングと PR を統括。2022年にはスタートアップエコシステム協会を設立、代表理事に就任。



守屋 実
守屋実事務所
代表

新規事業立ち上げのプロフェッショナル。株式会社ミスミを経て、株式会社エムアウトの創業に参画、2010年、守屋実事務所を設立、ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立ち上げに参画、副社長を歴任後、ブティックス株式会社、株式会社セルムなどの経営に参画する。

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 TokyoYard Building 7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株主：東日本旅客鉄道株式会社 (100%)

設立日：2018年2月20日

出資枠：50億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <https://jrestartup.co.jp>



JR East Start UP Co., Ltd.

あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション

【テストマーケティング詳細】

1. 株式会社 haccoba（代表取締役：佐藤 太亮）

地域共創 	無人駅の活用による駅舎醸造所を中心とした地域活性化 駅舎の空きスペースを活用した小型の醸造所をつくることで、駅舎をシンボリックなまちの入り口にすると共に、地域のセレクトショップも併設することで、地域の情報発信拠点にもなることでツーリズムとの連携など人の流動を作っていくことも目指します。
	実施箇所：福島県沿岸地域の無人駅
	実施期間：2023 年 9 月～

2. 株式会社 ALGO ARTIS（代表取締役社長：永田 健太郎）

デジタル共創 	AI・アルゴリズムによる線路メンテナンス作業計画の効率化 夜間に行われる線路メンテナンス作業は、予め決められた年間計画や限られた作業員数などの多くの制約条件を満たすように月間計画の策定を行いますが、複雑さゆえに多大な労力を要します。このような複雑な運用環境にも適応可能な独自の AI・アルゴリズムにより、計画策定時間の大幅な削減、および作業自体の要員配置などの最適化を目指します。
	実施箇所：首都圏エリア線路メンテナンス作業現場
	実施期間：2023 年 6 月～

3. 株式会社ウェーブレット（代表取締役：高橋 明久）

デジタル共創 	超小型発振装置を使用した地中モニタリングおよび支障物検知 超小型の発振装置を用いて定期的な振動を地中に伝え、得られたデータから地中状況の確認を行います。従来井戸を掘って計測していた地下水位変化を地上での簡易な計測方法により時間的空間的に連続して観測可能かを検証します。また地中にある支障物検知の可能性についても検証を行います。
	実施箇所：JR 東日本エリア
	実施期間：2023 年 5 月～

4. 株式会社 SIRC（代表取締役：高橋 真理子）

デジタル共創 	非接触式電力センサを用いた信号設備電力測定および設備効率化 世界初の非接触で電力測定が可能な小型電力センサユニットを用いて鉄道信号設備での電力・電流測定を行います。既設の信号設備を測定し、設計値との比較を行い、他設備の設計時に活かして使用機器の最適化を図ります。また、常時モニタリングの可能性についても検討します。
	実施箇所：鉄道信号設備
	実施期間：2023 年 5 月～

5. 株式会社 FullDepth（代表取締役社長：吉賀 智司）

デジタル共創 	水中ドローンによる新たな鉄道土木構造物維持管理手法の提案 様々な機能を搭載可能で軽量な世界最小クラスの水中ドローン「DiveUnit300」により、これまで「見える化」が不可能だった河川橋りょう基礎部などの新たな維持管理手法創出にチャレンジします。
	実施箇所：河川橋りょうなど
	実施期間：2023 年 6 月～

6. 株式会社 grow&partners（代表取締役：幸脇 啓子）

地球共創 (SDGs) 	駅や鉄道を活用した預けたい保育の実現 駅や鉄道を起点とし、子供のすきを伸ばし本物に触れられる探求学習を行い、預けたい保育、地域で育てる保育を実現します。また、保育士の新たな働き方の模索、保育事業を通じた地域貢献を目指します。
	実施箇所：上野駅、長野県佐久穂町ほか
	実施期間：2023 年 6 月～

7. 株式会社 TOMUSHI（代表取締役：石田 陽佑）

地球共創 (SDGs) 	JR 東日本とカブトムシでつくり上げる SDGs な暮らしとツーリズム JR 東日本グループから出た廃棄物でのカブトムシの生育に挑戦し、廃棄コスト削減と有価物としての販売を目指します。生育したカブトムシは駅での展示販売を通して SDGs の取り組みとして発信し、移動の促進を目指します。
	実施箇所：東北バイオフードサイクル、信濃川発電所、首都圏ほか
	実施期間：2023 年 6 月～